

新型コロナウイルス感染症対策に関する
千歳市 山口市長からの市民向けメッセージ

(令和2年5月19日 発言文)

皆さん、こんにちは、千歳市長の山口です。

私からこのビデオメッセージを通じ、市民の皆様、新型コロナウイルス感染症について、現状の認識と市の取り組み、皆様へのお願いについて申し上げます。

まず、このたびの、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々、ご遺族の皆様、謹んでお悔やみ申し上げます。

また、発症され、療養に当たっている皆様、心からお見舞い申し上げます。

現状の感染者数については「5月18日現在、98名」と、大変多くの罹患者数となっており、ほとんどが介護施設、病院内でのクラスター感染であります。それぞれの施設では、介護職員、医師、看護師をはじめ、スタッフの皆さんの懸命な、感染拡大防止対策や、感染の危険に向かいながらも身を賭しての医療行為が続けられており、現在、感染拡大は減少に向かっておりますが、いまだ確たる収束を見通す

ことができておりません。

このことは大変憂慮すべき事態であると重く受け止めており、一日も早い収束を目指し、あらゆる対策を講じ、取り組んでまいります。

この機会に、市民の皆様とともに、感染者の命を守り、心に寄り添っていただいている医療従事者、介護職員並びに保健所など、関係の皆様に対し、心からの感謝と敬愛の気持を表します。

また、市民の皆様には、感染に対し大きな不安や心配を感じていることと思います。長期にわたる自粛生活や休校などで大変なご不便をかけ、ストレスを感じていることと思いますが、市長として、このことを大変申し訳なく思っており、同時に、皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

さらに、市内で商工業や飲食など、事業を営んでいる事業者の皆様には、売り上げの減少、資金繰りなど塗炭の苦しみの中で、歯を食いしばって頑張っていることに感謝いたします。

どうか収束後の希望に夢をつなぎ、事業の継続を目指していただきたいと願います。

北海道の感染状況は、一時より改善していますが、依然として厳しい状況が続いており、引き続き「特定警戒都道府県」となっています。

また、北海道においては、石狩管内を除く地域について、休業要請を一部解除する方針としたものの、法令に基づく休業要請や生活の維持に必要な場合を除く外出の自粛、札幌市への不要不急の往来の自粛の要請は、引き続き道内全域で継続されております。

市といたしましても、これまでの感染者の状況や、クラスター感染がまだまだ完全に収束していないこと、医療態勢が厳しい状況にあることなどの理由から、市民の皆様には、5月31日まで引き続き、外出の自粛を強くお願いいたします。

千歳市での一日も早い収束を達成し、「日常の市民生活を取り戻す」、「通常の事業活動を取り戻す」ために、市としましては最大限の努力をしていかなければならないと考えています。

そのため、努力目標として、市内での

- ・クラスター関連の感染者拡大を、限りなくゼロに近づけ封じ込める。
- ・感染経路不明な感染者を限りなくゼロにする。
- ・持続可能な医療や介護態勢を確保すること

の3つを目指すこととします。

市民の皆様には、重ねて、マスクの着用、こまめな手洗いや消毒、咳エチケットに加え、「3つの密を避ける」、「ソーシャルディスタンスを守る」、「不要不急の外出はできるだけ避ける」、特に、「札幌への移動を控える」など、新しい生活様式を目指し、行動変容を励行していただくことを、ぜひお願いいたします。

公共施設や小中学校及び高校につきましては、5月31日まで、休館・休校となっておりますが、この期間を乗り切り、収束につなげていきたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

市としましても、市民の皆様の更なるご理解、ご協力、ご努力が必ずや、良い結果に結びつくよう、できる限りの取組を、果敢に実行してまいります。

どうぞよろしく申し上げます。